

中高一貫教育だより

令和3年11月12日（金） 第2号発行

平成13年に軽米高校と地域の中学校4校（軽米中・笹渡中・小軽米中・晴山中）との間で始まった「連携型中高一貫教育」は、21年目になりました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な制約がありました。特に、中高合同での取組は、生徒会役員が集まる活動だけとなり、その他の活動については別々に取り組むこととなりました。

今号では、10月、11月に行われた「中高一貫 数学・英語 集中講義」と、中高生徒会の活動を中心に紹介します。

「中高一貫 集中講義」

中高一貫の連携授業（高校の先生が中学校で授業を行う）は、岩手県の中高一貫校で実施されています。

軽米高校と軽米中学校でも、継続して実施され、今年度は、数学が6月から10月、英語が8月から11月に毎週1時間、3年生を対象に実施しました。特に最後の月には、1週間連続して授業する「集中講義」が行われます。

中高一貫の連携授業には、「中学生の高校の先生方への信頼感・安心感が増す」「高校の先生方の中学生への理解が増す」などの効果があり、その結果、「中学校と高校の接続がよりスムーズにできる」「高校に進学した中学生への学習指導や進路指導がよりきめ細かにできる」ようになり、メリットが非常に多い取組です。

～10/13(水)～10/15(金) 3年生数学～

数学では、普段の授業に面白さを感じてもらうことと数学への苦手意識を少しでも軽減させることを目的として、教科書の内容を中心に授業を行いました。今年度は「関数」です。



【集中講義を受けた中学生の事後アンケートの集計結果より】

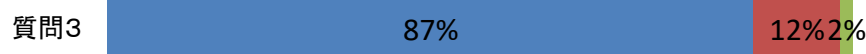
質問1：数学の授業に関心を持って参加することができた。



質問2：中学校で学んだ数学が、高校でどのように活用していくかについて考えたり気付いたりできた。



質問3：集中授業を受けて良かった。



- あてはまる
- ややあてはまる
- どちらともいえない
- あまりあてはまらない
- あてはまらない

~11/8(月)~11/11(木) 3年生英語~

英語は、今号の作成中に実施されています。内容はディベートで、「すべての中学生は地元の高校に進学した方がいいか」というテーマで、賛成、反対意見を英語で述べる授業です。最終日に発表があるので、準備をしています。



「中高連携生徒会活動」

軽米中学校と軽米高校の生徒会役員は、定期的集まり、生徒会の交流をしています。その中で、毎年合同で活動する行事についても話し合い、活動の幅を広げています。ここ2年間は、新型コロナ禍のため、かなりの制約がありましたが、その中でもできることを進めました。

~あいさつ運動~

生徒会役員が、高校、中学校に集まり、登校する生徒にあいさつをします。特に中学校ではあいさつに力を入れており、毎日、生徒会役員と有志であいさつをしています。高校の先輩達が立ち、あいさつをされると、いつもとはまた違う気持ちであいさつを返していることと思います。



~9/21(火)クリーン作戦~

軽米中学校の3年生、軽米高校1・2年生が合同で町内を歩き回り、ゴミ拾いをします。今年度は、新型コロナ禍のため、中高別々で実施することになり、少々寂しい活動になりました。しかし、同日に軽米小学校でも町内の清掃活動があり、偶然にも小中高連携クリーン作戦になりました。



【あとがき】

全国で「中高一貫教育」を行っている高校は約600校。中高一貫教育には、中等教育学校、併設型、連携型（軽米はこの型）の3つの型があります。この「中高一貫だより」は、軽米町が進める「中高一貫教育」を広く軽米町民のみなさんにご理解していただくために発行しています。今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、学校にご来校いただくことがほぼできない状況です。このお便りで少しでも今年度の活動の様子を理解していただければ幸いです。なお、中学校、高校共にホームページを開設しておりますので、ぜひ、そちらもご覧下さい。

＜発行：軽米中学校事務局（第2号発行担当）＞